

R18

KUSHIYABU PRESENTS  
BOUKYAKU BATTERY  
UNOFFICIAL FAN BOOK  
HARUKA×KEI

愛しの  
幼なじみから  
逃げられない







# 愛しの 幼なじみから 逃げられない

※個人の趣味による二次創作です。  
原作者様、出版社様および実在の人物とは  
一切関係ありません。

※無断転載・複製・複写・インターネット上への掲載・  
転売・ネットオークションへの出品は  
禁止でお願いします。

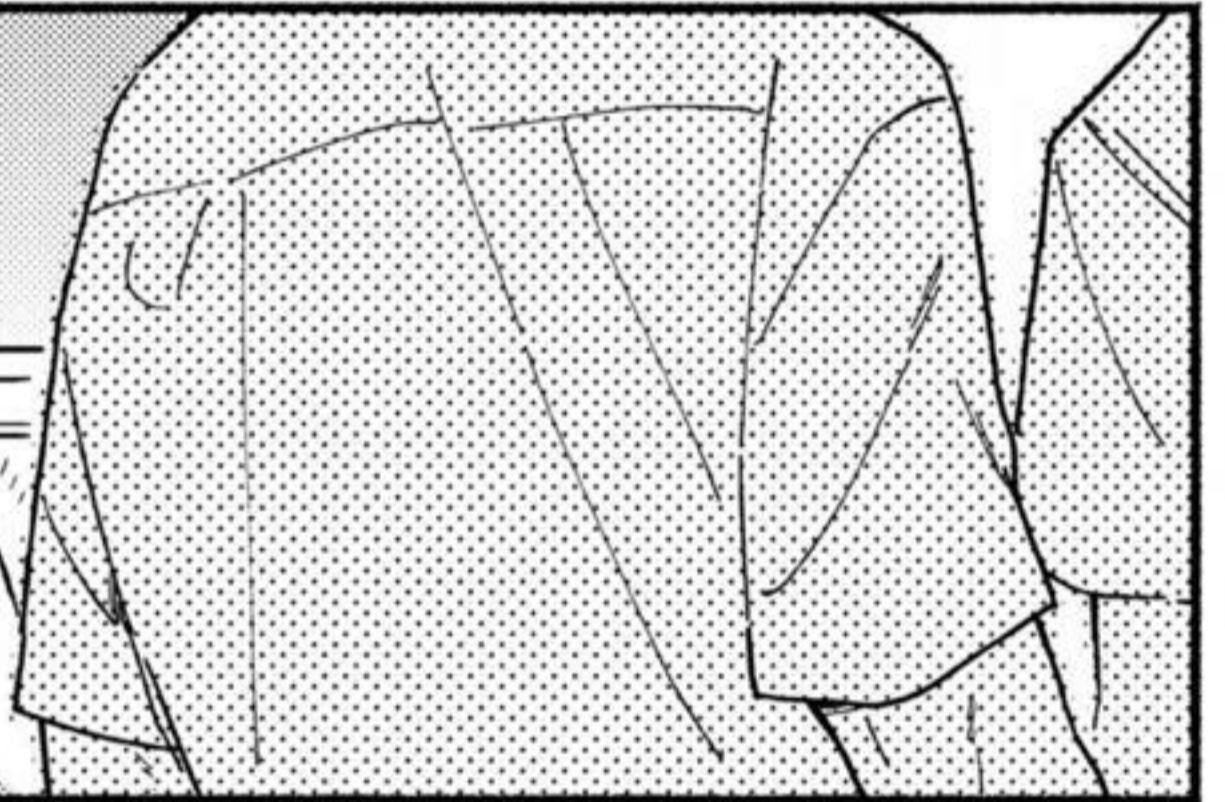
※この本はR18です。

クラスの誰かが  
猥談中に  
言ってた

清峰はマジで  
性欲とか  
無さそう



だよな  
そう  
見える  
よな



かわいい  
女子も  
言ってた

そういう  
ところも良いん  
だよー

↑…  
女子って  
そういうのが  
好きなんだ



ま

葉流ちゃんって  
野球以外に  
対しては  
ザ・淡泊って  
感じるもんね

って





ど  
こ  
が  
!?

ガ  
タッ

ん  
ん  
ッ

見  
て  
!  
こ  
れ  
!!

獣  
や  
ぞ  
!!!

圭









人來るところでは  
だめだってば

せめて  
家帰ってから...

.....  
わかった

ムス.....

.....

「この人野球に  
魂吸い取られ  
てんのよ！」

それはそう

本当にそう

だからって  
性欲が無いなんて  
ひと言も  
言っていない





だってさ

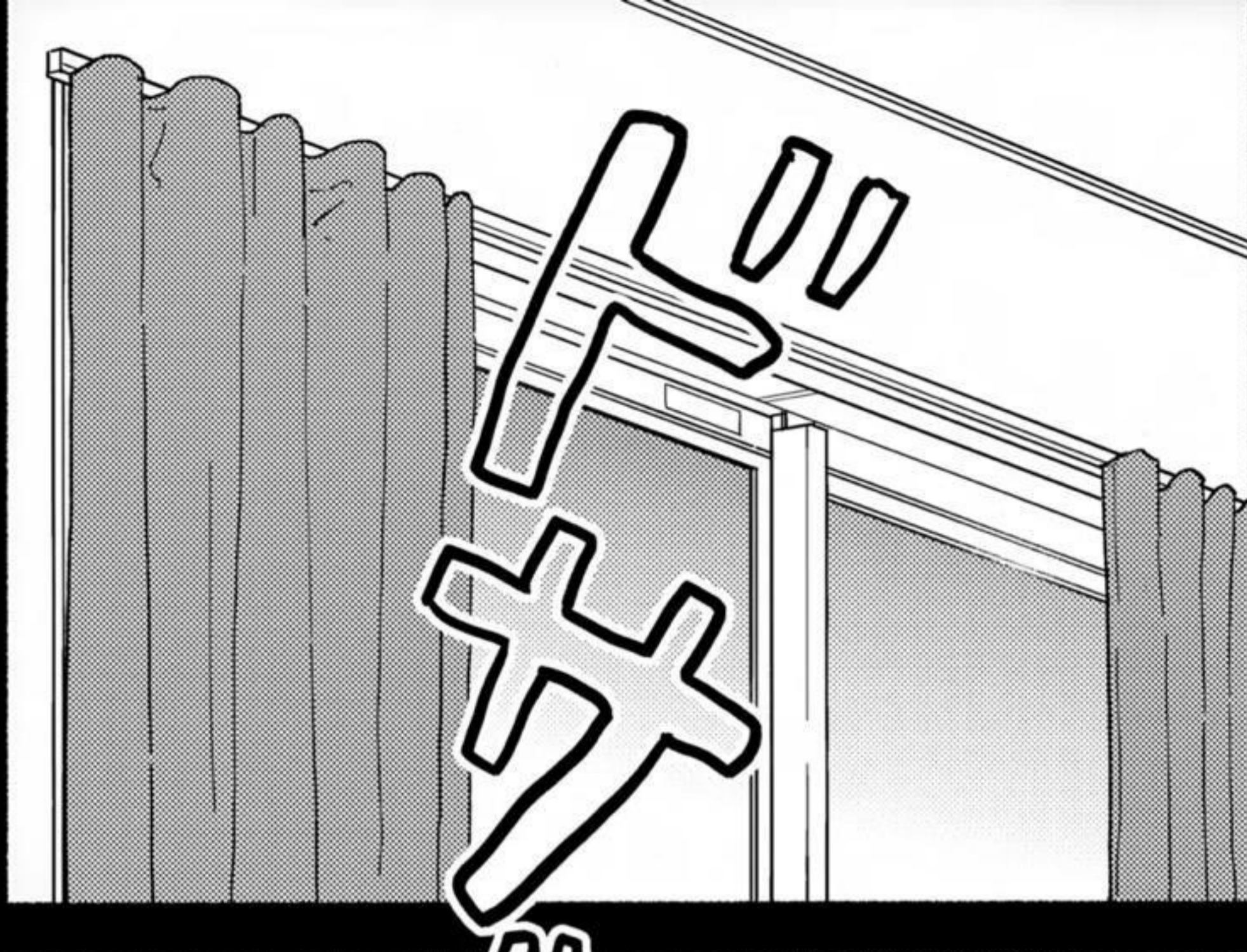
こんな  
おそろしい目  
して



今にも  
喰われそう

さ



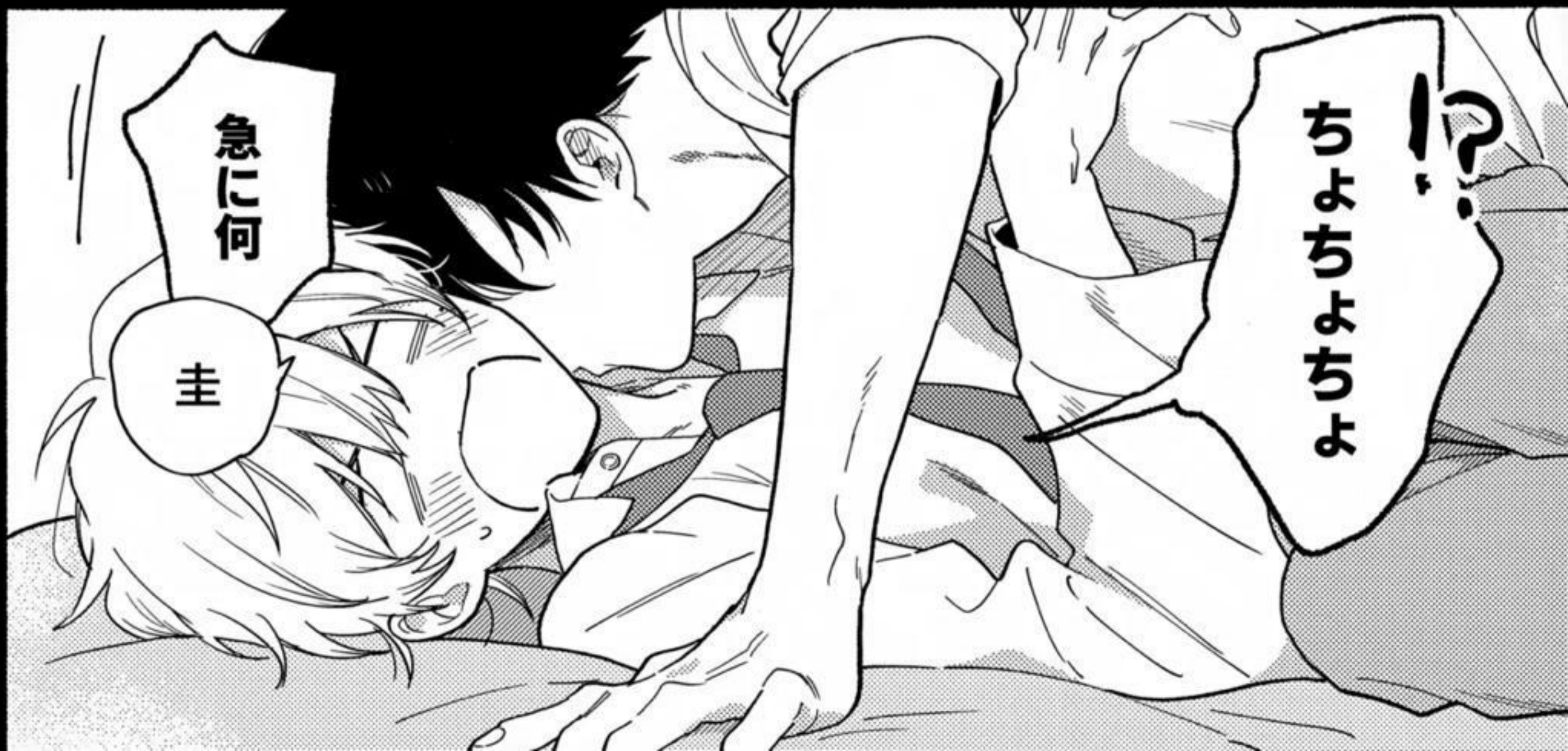


少し前のこと



葉流ちゃんが  
突然なにかに  
目覚めて

押し倒されて



!?  
ちよちよちよ

急に何  
圭





こっわ…  
…  
…

妙に  
ドキドキした  
俺が

それを  
受け入れて  
しまい

それから…





日に日に  
エスカレートする  
葉流ちゃん

連日  
抱きつづされる  
俺

尻  
酷使される

ほんとに  
入れん  
の……?

死ぬーッ

このままじゃ  
圭ちゃんの  
カラダ

助けて



というワケで

今日は  
ぜったい  
逃げてやる

だって  
練習すげエ  
キツかったですし

ヘトヘトなのよ  
ホント毎日

葉流ちゃんは  
体力バケモン  
だから伝わん  
ないし

鬼！

それはそれ  
これはこれ

いや  
普通に考えてさ

体力バケモンで  
獣な葉流ちゃんの  
性欲

俺が全部  
受け止めてんの  
おかしくね？

そこで俺は  
考えた



自ら(おもに尻)を  
守る術を!

① 逃げる

↓つかまる

② 運動で発散  
させる

↓俺が  
ムリリン  
モンロー

NO SEEKY  
ヤイキマ!















あ

ヤバイ

でも最近はずぐ気持ちよくなっちゃうんだよな…

拷問…？

キャッチングで痛めつけられてさらには凶悪チンコで痛めつけられるかわいそうな俺…



思い出したら

なんか

はぁ



はぁ

はぁ



腹の奥うずく…

もどん

ん

はぁ

はぁ





俺も  
さわりたい

ダメ



いや俺が  
盛ってどうすんの

ガマンガマン

圭



葉流ちゃんは  
じっとしてて

ムス



はあ...



なんで

今日は俺が  
したげるから!









やっぱり俺  
動いて良いか？

ニユハ!



あり…？



もしかして  
これ  
逆効果じゃね？

うわっ

ドサッ









ちが…

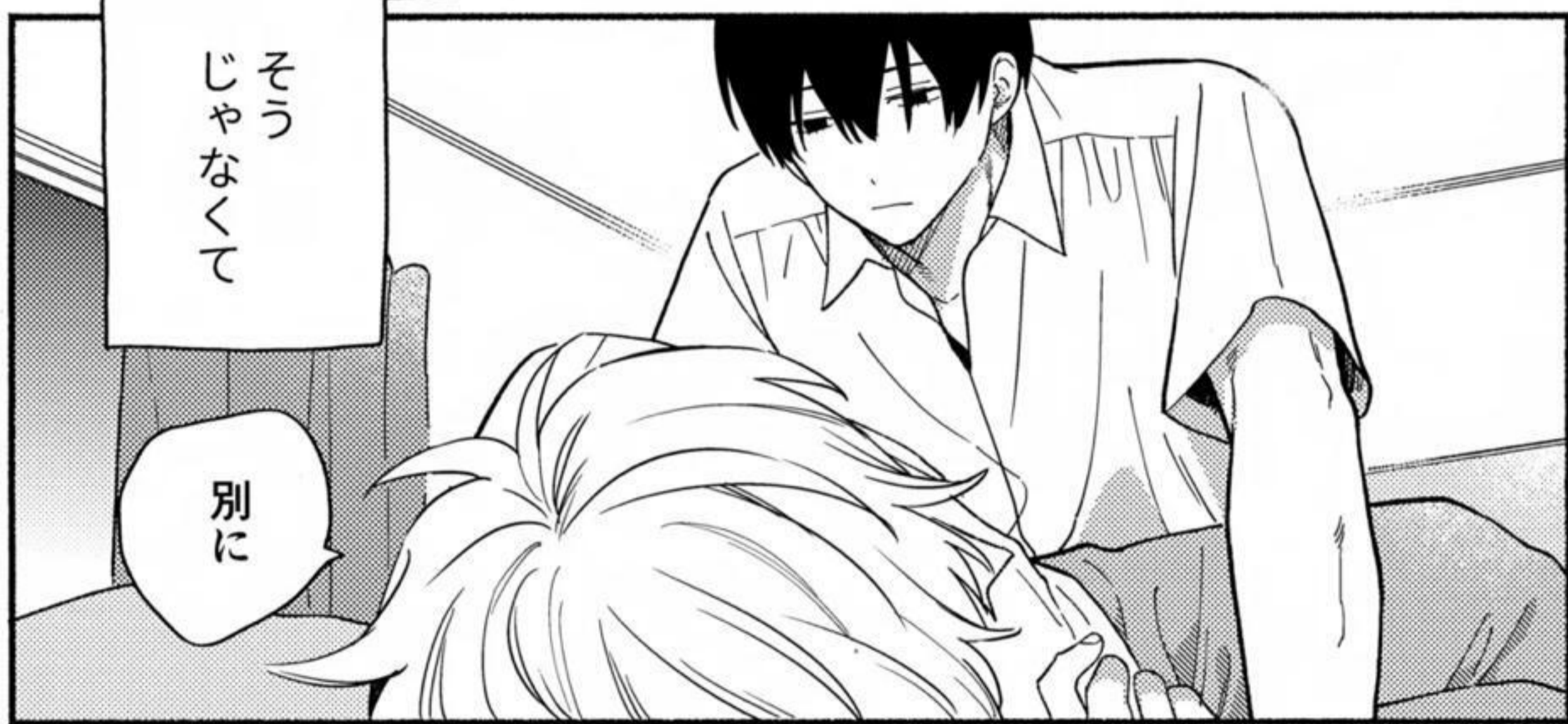


ニョボン…

!



圭が嫌なら  
…やめる



そう  
じゃなくて

別に



嫌では  
ないし

カ  
ア  
ア





しよーが  
ねーな〜

ちよつとだけ  
だかなな!



うん

あーあ

全然  
ダメじゃん

これ何回目よ

毎回最後は  
この流れで…

俺って結局  
葉流ちゃんに  
甘いのよね





表情変わんねエ  
くせに目キラキラ  
させてさ



わが  
たが

今日は絶対  
おさえめな！  
バグバグバグ

そんな  
葉流ちゃんの  
こと

見るたびに  
なんでも  
してあげたくなる



フウ  
チュ







あっ

おさえめ  
だってば

ッ...

ズ  
ズ  
ズ

いめん



あー

きもちいい...

アッ  
アッ  
アッ

ビ  
ッ

はあ

び  
び

きもち  
よくて

いっわ...

アッ  
アッ  
アッ





なんだかんだ  
すんなり入る  
ようになってん  
のもーこわいッ

ブッ

ブッ



……  
圭……  
いつもより  
気持ちよさそう

……！  
んっ

……！

ブッ



声  
でちやう……

ブッ

ブッ



はあ

なんか…

俺 さっきまで

どうやって  
逃げるか  
考えてたのに

はあ…

あ…

はあ…  
お願い  
だから

じゅっ…

これ以上  
俺のこと  
開発しないで…

はあ…

嫌

ズググ

だって圭が  
ここ…

浅いとこ  
擦ると

奥まで  
おもいっきり  
つつこむの

ズグ

あ…

フホ

ズグ









俺  
やられっ  
ぱなしじゃね？



あ  
俺もでた...



もう  
分かったよ

どうせ  
逃げらん  
ねエなら

：  
葉流ちゃんさ







俺の愛で  
殴り返してやる

一回で  
足りんの…



足りない

結局



ト  
キ  
ッ



この  
余裕ない顔  
見て

嬉しく  
なってるのは  
俺なんだから

はー  
困った…



そしてまた  
次の日  
後悔する

尿の死







KUSHIYABU PRESENTS  
BOUKYAKU BATTERY  
UNOFFICIAL FAN BOOK  
HARUKA×KEI

